

人権を考えるPart 2

市民一人ひとりの 人権が尊重された 心豊かな地域社会を めざして

市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、人権を誰にでも関わる大切な問題としてとらえ、地域に密着したきめ細かい人権教育・人権啓発活動を推進しています。

すべての人権課題の 解決に向けて

今年度は、「山口県人権推進指針」に掲げられている人権課題の解決に向けた取組を念頭に、人権教育セミナーと人権フェスティバルにおいて幅広く人権課題に向き合うことで、市民への啓発に努めました。

本市においても、さまざまな人権課題が存在します。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、あらゆる価値観や生活様式が大きく変化しました。目に見えない新型コロナウイルスへの恐怖は、不確実な情報の氾濫を招き、誤った考え方や思い込み、さらには偏見など人間の意識に起因する、いわゆる「コロナ差別」といった新たな人権課題も引き起こしています。

◀山口県人権推進指針



人権の花を育てよう

人権の花運動は、法務省が実施する啓発運動で、昭和57年度から実施されています。

浅田小学校と油谷小学校では、山口人権啓発活動地域ネットワーク協議会の主催による「人権の花を育てよう集会」が開催され、児童と人権擁護委員や法務局関係者が参加しました。

児童らは先生から花の植え方を教えてもらい、ヒマワリやサルビアなどの苗をプランターに植え、苗植えが終わった後、全員で「花を大切に育てるように、周りの友達、家族、地域の人を大切にしていくことを誓って人権の花をみんなで助けて育てていきます」と元気良く大きな声で誓っていました。



▲毎年市内小学校2校で実施



▲協力してサルビアを育てた

このような状況を踏まえ、すべての人々の人権が尊重された社会の実現を目指していくためには、市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しく理解する必要があります。日常生活において、人権への配慮がその態度・行動に表れるような人権感覚や、人権の大切さに気付く豊かな感性を育むことが重要です。

市では、身近にある人権課題

の現状把握や課題解決に向けた具体的な対策として、各種人権教育セミナーや人権フェスティバルの機会を活用して、積極的に市民への啓発に取り組んでいます。

今年度当初は、三回のセミナーとフェスティバル一回を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、セミナーとフェスティバルそれぞれ一回の開催となりました。

令和3年度の活動報告

第2回 長門市人権教育セミナー

開催日 9月11日(土)
場所 長門市しごとセンター
参加者 約40人

セミナーでは、ビデオ「あした咲く」から考える「多様性尊重社会」をテーマにビデオフォーラム・参加者意見交流会を実施しました。このビデオには、生き方の異なる姉妹が登場します。それぞれの立場で、悩みや葛藤を抱えながらも、さまざまな人々とのふれあいを通して、新たな視点や価値観に気付いていくという内容のドラマです。

幸せの形は十人十色。自分で自らの生き方を選択し、全ての人が「自分の花」をいきいきと咲かせることができ、それぞれの生き方を理解し認め合う多様性尊重社会の実現について考えを深めることができました。

《参加者の声》

人それぞれに立場があって、みんなその立場で一生懸命がんばってきている。どんな人であれ、その人、その人の生き方を否定するのはよくないと感じます。みんなが温かい目で見えて考えられるそんな世の中になっていくといいな…と思います。

一本のドラマの中に多くの人権に関する事項が含まれており、大変考えさせられた。それだけ、普段の生活の中には、多くの人権課題と隣り合わせであると感じた。「多様性」といわれる中で、他人を認めること、それが一番必要であると感じた。



《参加者の声》

人権を考える・意識できる大切な行事だと思いました。講演会を聴いて、感謝の心をもって、元気に生きたいと思いました。「いい空気」を自分からつくっていきたいです。

中学生の作文を聴いたり、講演を聴いたりして、自分の甘さを知る・自分の言動を見つめ直す良い機会になりました。心が少し軽くなったような気がします。職場でも、少し優しくなれそうです。

例えがわかりやすく親しみやすかったので、楽しく聴ける講演で良かったと思います。コロナのことで、人権について少しは考える機会もありましたが、普段はなかなか立ち止まって「人権」について考えることはなかったので、今日は考えてみる良い機会になったと思います。

長門市人権フェスティバル

開催日 11月14日(日)
場所 ラポールゆや 大ホール
参加者 約250人

「男女共同参画標語・キャッチフレーズ」の表彰、山口県人権啓発活動地域ネットワーク協議会による「人権の花」の表彰・「人権作文」の表彰・発表、長門保護区保護司会による「更生保護について」のお話の後、こころ元気研究所 所長 鎌田 敏さんを迎え、【命こそ宝 元気なところで元気な毎日】という演題の講演がありました。

鎌田さんは、こころ元気配達人・元気習慣アドバイザーとして、笑顔と元気を届けるべく、全国各地で講演・研修活動を行っておられます。行政、PTA、企業、福祉ボランティア団体、医療機関など延べ2000回を超える講演実績があります。鎌田さん自身の豊富な経験をもとに、「コミュニケーションの原則」や「人と人とのつながり(絆)」などについて話され、多くの学びを得るとともに、生きる力と元気をいただきました。

また、当日は菱海中学校も人権学習参観日のプログラムとして全校で講演会に参加しました。

